

吉浦／テーマに沿って話す。
社会福祉の仕事の基本的な手段。
専門職でも、理解されていない。
その意義を話す。
初めに、面接について話す。
相談の場面以外でも、技術を意識して用いることが求められる。
最も基盤となるのが傾聴。
人の話を意識的に聴く行為。
技術として用いる場合では、ただ聴くだけではない。
面接の学習を始めたばかりの人は、相手のペースでひたすら聴く。
これは、誤解。
傾聴自体が安心感をもたらすことはある。
よりよく聴くためには、適切な質問をすることが大切。
福祉の面接では生活の困難をかかえているひとが相手。
困難を理解することが大切。
不十分であれば、相談に来た人は満足できない。
その人の困難に合わせて適切に聴く必要がある。
どのように援助するかが決まってくる。
もう1つ意味を持つ。
聞き取る行為は、クライアントからは、語る行為。
意識していなかったことに質問されると、クライアントは言葉にして考えることになる。
新たな自己認識をもたらす。

初心者にまだ問題がある。
面接に持っている誤解。
意義を実践しようとする場合はよい。
福祉においては、傾聴面接は重要。